

北薩感染症情報

2025年第45週(11月3日～11月9日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

Eメール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	233	289	96.33	↗	—	113	129	64.50	↗	—
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	9	21	7.00	↗	—	1	9	4.50	↗	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	9	12	4.00	↗	—	4	4	2.00	→	—
小児科定点	RS	—	—	—	—	—	—	→	—	4	1	1.00	↓	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	1	1	0.50	→	—	—	—	—	→	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	2	2	1.00	→	—	11	10	10.00	↓	◎
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	—	3	1.50	↗	—	3	—	—	↓	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	1	—	—	↓	—	—	—	—	→	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	2	9	4.50	↗	◎	1	1	1.00	→	◎
	突発性発疹	—	—	—	—	—	—	→	—	—	1	1.00	↗	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	1	—	—	↓	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	1	—	—	↓	—
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	1	1	—	→	—
報告数合計		—	—	—	258	337	—	↗	—	139	156	—	↗	—

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 伝染性紅斑(警報レベル)
- ・出水保健所管内 伝染性紅斑, A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W	45W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	90.67	102.00	86.00	94.67	73.67	73.33	58.33	76.67	77.67	96.33
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	22.00	37.67	17.33	6.33	5.00	5.67	3.33	8.33	3.00	7.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	20.33	19.00	12.00	13.33	6.67	6.00	3.33	3.33	3.00	4.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	6.00	2.00	—	2.00	1.50	0.50	1.00	—	—	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	0.50	0.50	1.00	0.50	1.00	1.50	0.50	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	2.00	—	0.50	1.50	—	0.50	0.50	1.00	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	2.00	5.50	0.50	2.00	4.00	3.00	2.00	2.50	—	1.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.50	1.00	—	—	—	—	0.50	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	1.00	0.50	—	1.00	—	—	0.50	—	0.50	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	1.50	1.00	2.00	0.50	3.50	4.50	3.50	1.00	1.00	4.50
	突発性発疹	—	—	0.50	2.00	—	—	—	—	0.50	1.00	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	3.00	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00	—	1.00	1.00	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W	45W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	41.50	53.00	62.50	48.50	53.00	51.50	47.50	53.50	56.50	64.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.50	—	0.50	1.00	1.00	—	—	3.50	0.50	4.50
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	14.50	9.50	18.50	11.50	8.00	7.50	0.50	2.50	2.00	2.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	5.00	3.00	3.00	5.00	2.00	4.00	3.00	4.00	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	3.00	4.00	3.00	2.00	2.00	1.00	4.00	2.00	11.00	10.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	—	2.00	—	—	—	—	1.00	3.00	—
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	2.00	5.00	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	3.00	1.00	1.00
	突発性発疹	—	—	—	—	1.00	1.00	—	—	—	1.00	—	1.00
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	2.00	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

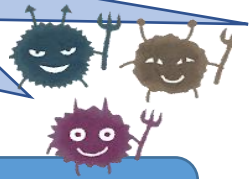
第45週は、引き続き、川薩および出水保健所管内では、伝染性紅斑が警報レベルです。出水保健所管内では、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベルに達しています。

出水市の環境試料(水)から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました。衰弱または死亡した野生の鳥獣には不用意に触らないようにしましょう。

伝染性紅斑(リンゴ病)が県内で 流行しています！

伝染性紅斑とは

小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。



妊娠中または妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関へ相談してください。



感染経路・予防方法について

感染した人の咳のしぶきを吸い込むことによる飛沫感染や感染者と接触したりすることによる接触感染があります。

微熱やかぜのような症状がみられる時期にウイルスの排出量が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力も消失しています。伝染性紅斑を予防するワクチンや薬はなく、手洗いやマスクの着用などの基本的な感染予防を行いましょう。

定点あたり報告数（人/定点）



でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状
この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！


伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2025年5月作成



感染症対策へのご協力をおねがいします

せき 咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います。**
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います。**
- ・周囲の人から**なるべく離れます。**



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など
人が集まる場所でやろう



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる

正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を
確実に覆う

② ゴムひもを
耳にかける

③ 隙間がないよう
鼻まで覆う

首相官邸

厚生労働省

厚労省

総務省

感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。
医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



3つの咳エチケット



正しいマスクの着用



- ①鼻と口の両方を確実に覆う
- ②ゴムひもを耳にかける
- ③隙間がないよう鼻まで覆う

こまめな換気



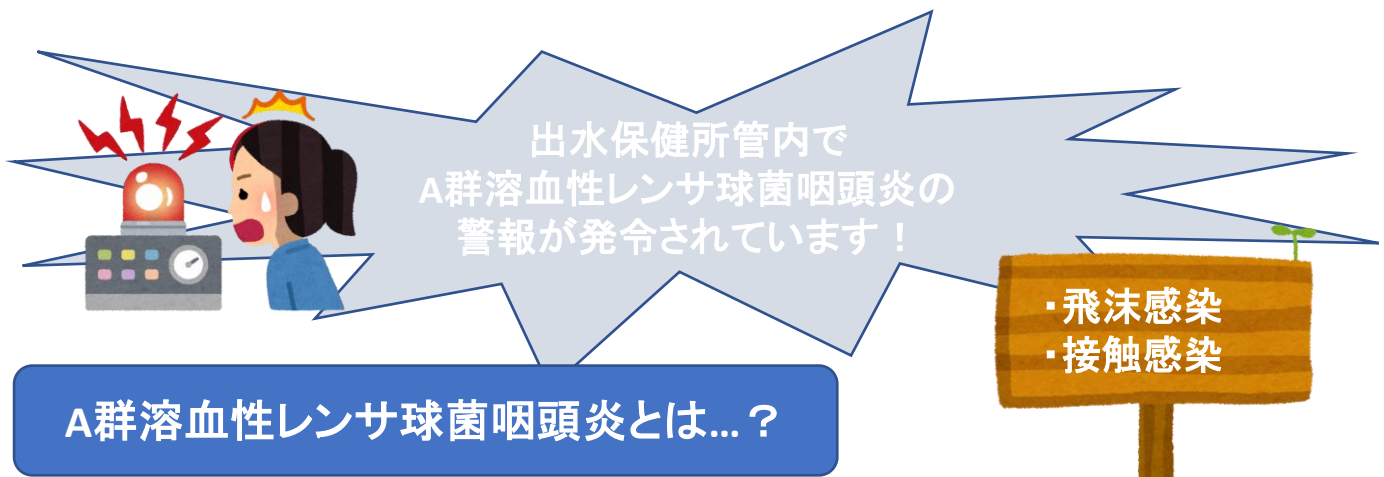
ときどき窓を開けて空気を入れ替える



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare





A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは...？

A群β溶血性レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) を病原体とする感染症です。主な感染経路は飛沫感染および接触感染です。病原体のA群β溶血性レンサ球菌は様々な毒素や酵素を分泌し、多様な症状の原因となります。

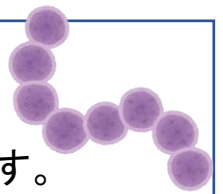
潜伏期間: 2～5日

症 状: 発熱, 咽頭痛, 倦怠感, 嘔吐など

猩紅熱では特徴的な紅斑やいちご舌, 落屑が見られます。

合 併 症: 急性糸球体腎炎やリウマチ熱など

突発的かつ急速に多臓器不全に進行する**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**を起こすことがあります。



咽頭炎は学童に多く, 冬季と, 春から初夏の2つの流行のピークがあります。家庭や学校での集団感染が多いです。一方で劇症型溶血性レンサ球菌感染症は成人に多くなっています。

予防法について

- ・患者との濃厚接触を避けることが最も重要
- ・手洗いや咳エチケットが有効



参考資料

A群溶血性レンサ球菌感染症 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (jihs.go.jp)

鳥インフルエンザについて



鳥インフルエンザとは

鳥類に対して感染性を示すA型インフルエンザウイルスによる感染症です。鳥インフルエンザの原因となるA型インフルエンザウイルスの自然宿主は野生の水きん(カモ)類です。この野生のカモ由来のウイルスが家きんの間で感染を繰り返すうちに、鶏に対して高い病原性を示すウイルスに変異した場合に高病原性という表現をします。

ヒトへの感染性について

通常はヒトに感染しませんが、報告されている患者のほとんどが、家きんやその排泄物、死体、臓器などに濃厚な接触があったとされています。鳥インフルエンザウイルスについては、これまで、鶏肉や鶏卵を食べることによってヒトに感染したという事例の報告はありません。



令和7年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

MAFF
農林水産省

(令和7年11月05日15時現在)

○野鳥 1道1県10事例

※詳細は環境省HP参照 <https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird/flu/>

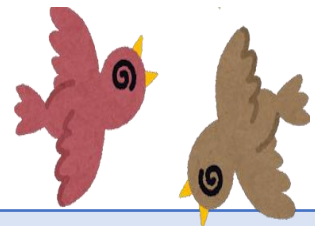
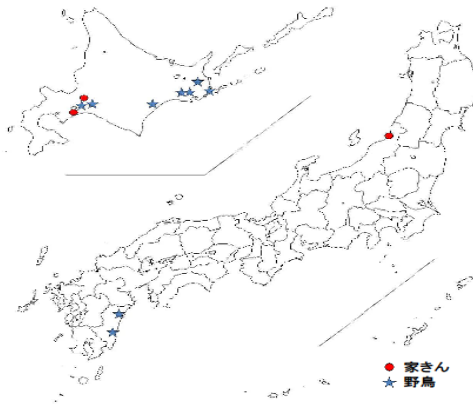
検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	産地
1 北海道苫小牧市	10/15	オオタカ	HPAI	HSN1
2 宮崎県日南市	10/22	ヒドリガモ	HPAI	HSN1
3 北海道根室市	10/23	ハシブトガラス	HPAI	HSN1
4 北海道網走市	10/25	タンチョウ	HPAI	HSN1
5 北海道千歳市	10/23	オオハクチョウ	HPAI	HSN1
6 宮崎県延岡市	10/27	ヒドリガモ	HPAI	HSN1
7 北海道根室市	10/27	シマフクロウ	HPAI	HS
8 北海道網走市	10/30	オオハクチョウ	HPAI	HS
9 北海道釧路市	10/31	タンチョウ	HPAI	HS
10 北海道釧路市	10/30	タンチョウ	HPAI	HS

○家きん 1道1県3事例

地域	検体回収日	用途	羽数(約)	産地
1 北海道白老町	10/22	採卵鶏	45.5万羽※	HSN1
2 北海道根室市	11/2	採卵鶏	23.6万羽※	HS
3 新潟県胎内市	11/4	採卵鶏	63万羽※	HS

※ 検体回収開始時の羽数

※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ



衰弱または死亡した野生の鳥獣には不用意に触らないようにしましょう。

農林水産省ホームページより

令和7年度 鳥インフルエンザに関する情報について: 農林水産省 (maff.go.jp)

令和7年11月3日

出水市内の環境試料(水)から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

詳細は鹿児島県のホームページをご覧ください！

鹿児島県／令和7-8年鳥インフルエンザ情報(随時更新) (pref.kagoshima.jp)

参考資料: 鳥インフルエンザについて | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

鳥インフルエンザに関するQ&A | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)